

# 施策マネジメントシート(令和3年度目標達成度評価)

シート1

作成日 令和 4 年 10 月 3 日

## 施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	11	生涯スポーツの推進
-----------	---	-------	-----	----	-----------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

## 1 施策の目的と指標

対象	市民、市外からの通勤・通学者	意図	生涯を通じてスポーツを行っている
----	----------------	----	------------------

成果指標		単位
A	月1回以上、スポーツを行っている人の割合(市民アンケート)	%
B		
C		
D		

## 2 指標等の推移

成果指標	30年度 現状値	数値区分	2年度	3年度	4年度	5年度	評価	背景として考えられること	
A	%	35.1	成り行き値	35.3	35.5	35.7	35.9	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛や、体育施設が休館になるなど、活動が制限されたことが要因と考えられます。一方、市民アンケートで「日頃から、体を動かすことに取り組んでいるか」の問いでは、60.2%(R2 56.4%)の方が月1回以上行っていると回答しており、ウォーキングや体操など、競技性のない運動を含めると、半数以上の方が運動を実施しています。
			目標値	36.0	37.0	38.0	39.0		
			実績値	30.8	32.5				
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			2年度	3年度	4年度	5年度	
事務事業数			本数	9	8		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	198	0		
		都道府県支出金	千円	197	0		
		地方債	千円	0	6,700		
		その他	千円	12,412	0		
		繰入金	千円	0	15,273		
		一般財源	千円	37,576	39,486		
	事業費計 (A)		千円	50,383	61,459	0	0
(A)のうち指定経費		千円	1,020	1,012			
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	5	0			
人件費	延べ業務時間		時間	6,444	6,368		
	人件費計 (B)		千円	25,409	24,898		
トータルコスト(A)+(B)			千円	75,792	86,357	0	0

※成果指標の目標値設定とその根拠

A	<p>月1回以上、スポーツを行っている人の割合の成り行き値は、平成30年度までのアンケート結果の推移から微増すると考え、令和5年度を35.9%と設定しました。目標値は、市民の健康づくり事業の推進と併せ、生活習慣病の予防やストレス発散、体力の向上など心身の健康の保持増進に資するため、よりスポーツに親しむ環境づくりを推進していくことで令和2年度を36.0%とし、以降各年度1.0ポイントの増を目指し、令和5年度を39.0%と設定しました。</p>
---	--

**3 施策の特性・状況変化・住民意見等**

**①施策の基本方針**

- ・市民のニーズに対応した、身近で親しみやすいスポーツ環境づくりに努めます。
- ・地域スポーツ振興のコーディネーターであるスポーツ推進委員との協働によりスポーツ・レクリエーション活動の支援・活性化を図ります。
- ・総合型地域スポーツクラブなどスポーツ団体との連携を図り、小学校部活動の社会体育移行後のフォローアップに努めます。

**②協働によるまちづくりの具体策(施策における市民と行政の役割分担)**

**市民(事業所、地域、団体)の役割**

- ・市民は、健康の保持・増進のため、主体的にスポーツ活動に取り組みます。
- ・地域は、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。

**行政の役割(市がやるべきこと)**

- ・市は、スポーツ機会の提供と情報発信を行います。
- ・市は、各施設の安全で安心な施設の管理・運営を行います。
- ・市は、利用しやすい環境整備を検討します。
- ・市は、スポーツ推進委員との協働により、各団体や各地域における活動の支援や魅力あるスポーツイベントの充実を図ります。

③施策の現状(第2期計画策定当初)と今後の状況変化

- ・スポーツをしない理由として「時間がない」などがあげられていますが、健康への関心は高まっています。
- ・市が主催するスポーツイベントにおける参加者の推移は、減少あるいは横ばいの傾向が見られます。
- ・スポーツ施設の数や利用時間帯などにより、希望どおりの利用ができない場合もあります。
- ・小学校部活動が、社会体育に移行しました。

④この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・生涯スポーツ指導者の育成・確保・支援を行うこと。
- ・スポーツ指導者の研修を充実させること。
- ・eスポーツを含め新しい生涯スポーツの環境整備を推進すること。

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること。
- ・子どもを中心にスポーツの楽しさを伝え、スポーツを普及振興すること。

4 施策の評価

①施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和3年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①「効果的な情報発信に取り組み、住民ニーズに即した健康づくりのための教室・講座・運動メニュー等、内容の充実に努めます。」については、健康づくりを目的に掲げ、スポーツ推進委員とともに各種イベントを検討しましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況などから、市民マラソンのみを実施しました。

②「スポーツ推進委員と連携し、軽運動の推進、幅広い年齢層が親しみやすいスポーツ活動の充実に努めるとともに、生涯スポーツ指導者等の人材育成・確保に努めます。」については、例年スポーツ推進委員を中心とした各種イベントの企画及び住民ニーズに対応した出前講座等を実施していましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出前講座は中止になり実施できませんでした。イベントはマラソン大会を実施することができました。

③「生涯スポーツ施設の再構築検討に併せ、市民がスポーツに取り組みやすい環境づくりや小学校部活動の社会体育移行に伴う施設面の課題を抽出し、施設整備を検討します。」については、公共施設等総合管理計画に基づいた修繕・工事を行ったほか、中九州横断道路整備に伴う総合運動公園内運動施設の再構築に関する協議を実施しました。また小学校部活動等の社会体育移行について、学校施設開放時間の調整のほか、総合型地域スポーツクラブ及び体育協会の各種目団体と連携を図りながら進めました。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、令和3年度施策の成果を向上させるために貢献した事業としては、スポーツイベント開催事業があげられました。

②施策の課題(令和3年度の施策の振り返りから見る課題)

- ・スポーツを始める機会の提供が必要です。
- ・スポーツに親しむための幅広い環境整備が必要です。(談話スペースや託児スペースなど)
- ・市民のニーズをとらえた魅力的なイベントの開催が必要です。
- ・スポーツ実施率などを数値化するなどの見える化が必要です。
- ・地域スポーツの振興を図るため、地域課題に関する情報収集とその共有が必要です。
- ・安全安心に使用できる効率的な施設整備が必要です。
- ・小学校部活動の社会体育移行に伴い、指導者等の人材確保が必要です。

5 施策の令和3年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて令和4年7月22日)

- ・中学校部活動の地域スポーツへの移行の支援を行うこと。
- ・生涯スポーツ施設の再編を検討すること。
- ・生涯スポーツ団体の活動を活性化させ、より市民が参加しやすい環境を整備すること。
- ・新たな生涯スポーツ指導者の育成・人材確保を図ること。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナにおける生涯スポーツを推進すること。

②総合政策審議会での指摘事項(令和4年8月4日、8月10日、8月22日のまとめ)

- ・誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること
- ・スポーツの楽しさを伝え、スポーツを普及振興すること
- ・部活動から移行したスポーツクラブ等の指導者の確保を行うこと

③議会の行政評価における指摘事項(令和4年9月6日)

- ・総合運動公園の狭小化に伴う、各施設の代替移転を進めること。
- ・スポーツ指導員は成り手不足であり、確保に取り組むこと。
- ・社会体育の指導者を育成し、小中学生からスポーツになじむ環境を整えること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和5年度合志市経営方針(令和4年10月3日)

- ①日常生活に取り入れられる運動などの情報発信に取り組み、健康づくりのための教室・講座・運動メニュー等、内容の充実に努めます。
- ②スポーツ推進委員と連携し、出前教室の活用などにより、地域スポーツの振興を図ります。
- ③市民が親しみやすいスポーツ活動の充実に努めるとともに、中学校部活動の地域スポーツ移行に向けたスポーツ指導者等の人材育成・確保に努めます。
- ④安全・安心なスポーツ施設の管理・運営を行い、利用しやすい環境整備に努めます。